

2017年10月に日中学院日本語科は、1986年の日本語科設立以来初めてとなる、10月生を迎えることができました。

第1期となる10月の入学式が10月2日に行われ、19名が入学されました。

歓迎あいさつ

日本語科 松本朝子(通訳 胡興智)

首先衷心祝贺新同学进入我校学习。

各位同学一定是满怀期待，来到日中学院的。大家都希望学好日语，将来升入理想的大学或大学院继续深造。在此想就两点，谈谈我的看法。

今后一年半的学习生活将是十分紧张的，可能很难一直保持旺盛的学习热情，要适应新的学习环境和生活环境不是轻而易举的。在新的环境下学习、生活，大家可能会遇到很多不习惯的事，遭受挫折，会产生很多烦恼。

当你遇到困难时，不要独自烦恼，多和任课老师、办公室的老师以及身边的友好商量。只要把烦恼说出来，心情就会豁然开朗，能够重新鼓起勇气继续在日本的生活、学习。凡事向前看，保持积极乐观的心态是愉快地度过留学生活的秘诀。

我想讲的第二点是，“勿忘初衷”。

希望大家不要忘记刚来到日本的心情，也就是现在的心情。当你渐渐习惯了日本的生活，有时也许会产生这样的疑惑“我为什么要来日本呢？”或是在生活中遇到困难，觉得寂寞的时候，希望大家不要忘记初衷，重新振作起精神继续努力。

我们会竭尽全力帮助大家实现各自的理想的。

看似很长的一年半，一晃就会过去的。希望大家能朝着自己的理想坚持不懈的努力，我相信你们一定能达到自己的目标。历届毕业生也都在日中学院打下了良好的基础，在不同的领域大有作为。

同学们在日中学院能有很多机会与学习汉语的日本同学进行交流，了解真实的日本。希望大家在进行交流时多说日语，争取早日尽快提高日语水平，于此同时也要不断地加深对日本文化和风俗习惯的理解。

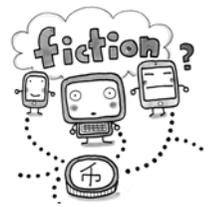
以往的毕业生之所以能克服千辛万苦，实现自己的理想，除了本人的努力、老师的帮助之外，与日本同学、朋友的热情相助也是分不开的。日中两国的同学能通过汉语和日语，互相帮助，加深理解，这不是难能可贵的吗？

最后衷心希望同学们的留学生活能结出丰硕之果，每个人都能成为名副其实的日中友好的架桥人。



日本語科課外活動 いけばな展覧学

A 先生の新語コーナー



xūnhuòbì “虚拟货币”

仮想通貨。“比特币”(ビットコイン)がその代表格。中国の監督管理当局は9月以降、仮想通貨への規制を強める傾向にある。同月4日、仮想通貨の発行による資金調達(ICO)の停止を命じ、さらにその後、国内の主要取引所が当局の指導に従い、人民元との交換業務を停止した。監督管理当局は規制の理由として「投機的な取引が活発に行われ、实体经济にとつて得るところは少なく、比較的高い金融リスクが見られるため」としている。(A)

過日開かれました『通訳ワークショップ サミュエル周先生と通訳の現場体験』には多くの方にご参加いただきました。当日参加できなかった皆さんのため、サミュエル周先生の楽しく貴重なお話・アドバイスをまとめてみましたので、皆さん、特に通訳に興味をお持ちの方の学習の参考になれば幸いです。

サミュエル周先生ワークショップ (2017.08.05)

第一部では「通訳とは何か」について『通訳学入門』（フランツ・ポエヒハッカー著 鳥飼玖美子訳 みすず書房）を参考に考えてみます。

まず通訳とは何かというとき、一つの学問「通訳学」であるといえます。一般的に通訳とは、「翻訳」のある種の形態です。「翻訳」とは文章、音楽、表情などの「表現」を別の形に置き換えるものであり、英語では“interpretation”＝「説明、解釈」というものになります。伝達方式としては、言語から言語へ、特に音声で伝える方法がすぐ思い出されますが、そのほかに視覚言語通訳＝手話通訳やジェスチャーの間の通訳などがあります。ある意味、作曲家の書いた譜面を演奏家が解釈して演奏するのも「翻訳」の一種といえるかもしれません。最近は通訳の「自動化」が行われ、将来はAI（人工知能）による通訳が進み、人的通訳は不要となるかもしれない懸念があります。

では、通訳の特徴はなんでしょうか。特に翻訳と異なるのは「即時性」です。つまり、直ちにその場で、わかりやすく簡明に、言語と文化の壁を乗り越えて、コミュニケーションに参加したい人たちのために役立つことといえます。

その通訳をする人「通訳者」とは、AとBという2人の間や、大勢の間（会議通訳など）に立って、言語＝音声を伝達方式として、相互作用を及ぼす仲立ちをする人です。

通訳の具体的なやり方には大きく2種類あり、逐次通訳と同時通訳があります。いずれもスピーカーの話を必要に応じてノートをとることがよくあります。特にここでは逐次通訳を中心に話しますと、ノート・メモは必要となることが多いです。その表記方法は速記、記号化など工夫が必要ですが、ノートにも通訳専用ノートがあり、ページの真ん中に線がひかれ、話題の中心と逸れた話についてメモを取る場所を分けるなど、後の再現（音声で訳出する）のための工夫をすることができます。また、メモが取りやすいよう、滑りにくい紙でできています。ノートテイキングには表記法のほかにもコツがあります。例えば、すでに訳した

メモと、まだ訳していないメモを認識する工夫として、訳した部分を線で消したりしています。伝統的な逐次通訳は長時間のスピーチをノートして記憶と併せて再現（訳出）するのですが、短い話はノートをとらずに覚えておきます。

音声を伝達方式とする通訳に使用される言語には、「A言語＝母語または最も自然に能動的に話せる言語」、「B言語＝第二外国語、母語並みに熟達した能動言語」、「C言語＝完全に理解できる受動言語、話すのは上手くないが聞いてわかる言語」の3種類が考えられ、B言語からA言語へ、もしくはB言語からC言語へというのが好ましいと考えられています。これはジュネーブにあるAIIC（国際会議通訳者協会）の分類であり、基準として、国際会議通訳者は3ヶ国語できることを要求され、通訳を目指す人はABともに十分に操れることが求められます。

上記で触れた「通訳者」は「プロ」と呼ばれる人です。これは特殊な技能を要する専門職であり、そのレベルはスキルによりランク付けされています。専門知識、文化などの知識とスキル（通訳技術）、誠実性、信頼性、心構えを十分身につけていると考えられます。

それに対して、コミュニティの場では、訓練を一切受けていないけれども自然発生的に通訳する、例えば、残留孤児や移民の子弟が親などの通訳をするものなどを目にします。これらは「素人通訳」（＝lay interpreter）や「訓練なしの通訳」（natural interpreter）となります。

では、「プロ」が要求されることは何かを具体的に見ていきます。まずは、スピーカーの話をきちんと置き換え、スピーカーが話していないことは訳出しないのが原則です。とはいえ、100%の通訳は無理なので、7割で出来がいいと思ってよいといえますが、できるだけ誠実に訳すことは大切です。通訳の仕事は「受け身」で、スピーカーの話し方や言葉遣いを、通訳者が好き嫌いを言って選ぶことはできませんから、積極的に「対人志向」であるべきです。また「やらなくてはいけない、や

る！」と思って、きちんと物事を片付けていく「行動志向」であるべきです。片付けることに集中するためには、自分の得意な専門的な分野を作っておくと効率よく、自信をもって進められます。

通訳はさまざまな能力が要求されますが、生まれつきの能力は不平等なものなので、冷静に自分自身を見つめて、自分の能力を磨いておく必要があります。特に認知能力＝相手の話を理解する能力は重要です。普段からいろいろな人にとって、さまざまな話しを聞き、理解するよう努めるのはたいへん勉強になります。催し物や講演会など積極的に出かけましょう。あわせて分析力、記憶力も鍛えたい能力です。

通訳をするための事前準備として、対象となるスピーカーのこれまでの講演録、著作などは調べて、できるだけ目を通しておきます。そのほかに一般教養、知識、雑学は日頃から注意して、たくさん身につけておくと役に立ちます。考えられる内容としては、中国の歴史や、文物、世界遺産、名所などは常識の範囲として押さえておきたいで

すし、動物、植物、魚、花などの知識も有用です。

道徳的、情動的能力（気配り、冷静さ、慎重さなど）も大いに重要です。判断力（なにをどう訳すか、あいまいな質問をあえて明確に訳すかどうかなど考える力）も養う必要があります。もちろん、事前に情報を収集した上で判断することは言うまでもありません。スピーカーの話が長い場合には、分割して整理して訳す場合があります。こうした「分割的注意力」も判断とともに必要となります。いずれにしろ人前で話すわけですから、人の前で話す才能＝堂々と話す覚悟（＝たとえ間違ってもきちんと訳す）をしましょう。また心地よい声であるかというような個人的資質も問われることとなります。

いずれにしろ、プロは完成度を上げるための様々な要素を磨く必要があります。それでも通訳の場でクレームを受けることは多々ありますが、そこではしっかり仕事を片付けることに集中し、通訳の現場が終わってから、先方に対処・説明しましょう。（編集記述：高木）

※後半は次号以降に掲載予定です。

図書室 だより 食・知・満足

読むか、聞くか、見るか・・・中国語。やっぱり、食べよう！というわけで今月は食に関する本を紹介します。

●『台湾かあさんの味とレシピ』 台湾大好き編集部編 誠文堂新光社 2016年発行（日本語）



本図書室で抜群の人気を博した本です。予約待ちが続き行列ができるほど・・・というのはオーバーですが。題名の通り、台湾のお母さんたちが作る料理です。日本とは火力や調味料が違ってくるので、まずは、「料理の前に」をよく読んでからスタート。さあ、今夜の食卓に台湾の家庭料理はどうでしょう？

折角学んでいるのだから中国語を活用したい。そんな方々には。

●『好汤好菜』萨巴蒂娜 主编 中国轻工业出版社 2016年 この本の最大の特徴は、豊富な写真で本格中華

の調理手順を表示。文章も簡潔です。計量は目録のページに容量対照表があるので調味しやすいです。

●『料理全书』（日）高木初江 石秀梅译 北京联合出版公司 2016年

サブタイトルは初江奶奶带你从零开始学习日本料理。そう、ハツ江おばあちゃんはNHKの「きょうの料理ビギナーズ」の登場人物です。内容は日本料理の基本の「き」。それが中国語で説明されている。料理より中国語が学べる。中国語で日本料理を学ぶのも一興。



〈今月の寄贈図書〉

下記の方々よりご寄贈がありました。ありがとうございました。

- 新井一二三様（著者）より『你一定想知道的日本名词故事』
- 藤本良子様より CD『中国名族器乐精粹』
- 横山悠太様（著者）より『小説ミラーさん—みんなの日本語初級シリーズ—』
- 匿名様より 『白説（清新版）』

11月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
			1	2 ●本科18年度 推薦入試受付 締切	3	4
5 ●本科推薦入試	6 ●日本語科定期 試験(～10日)	7 ●本科推薦入試 合格発表	8 ●本科1次入試 募集開始	9	10	11 ●本科生のための 公開講座 (9:30～)
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25 ●瞳みのる先生講 演会(13:00～)
26 ●中国語検定試験	27	28	29	30		
●12月の日中学院 ・1日…本科1次入試受付締切 別科公開講座 18:45～(入門・基礎) ・3日…別科1日集中講座/本科1次入試			・3日…日本語能力試験 ・5日…本科1次合格発表 ・6日…本科2次募集受付開始 ・9日…別科公開講座 13:00～(入門・基礎)		・14日…本科定期試験(～20日) ・21日…本科・日本語科 冬休み開始(～1/9) ・22日…267期別科最終日 ・26日…閉門(～1/5)	

日曜1日集中講座 2017年12月3日(日)

- ① お試し中国語(中国語入門) 担当:小澤光恵・胡興智
レベル:中国語を初めて学習される方
- ② 発音ステップアップ 担当:王淑娟・小金井京子
レベル:中国語の発音を一通り学習された方
- ③ “听听说说” 担当:淳于永南
レベル:中国語検定3級以上の方
- ④ 文法も楽しい～まず補語から～ 担当:張蕾・高木美鳥
レベル:基礎課程修了程度の方
- ⑤ お試しHSK 6級 担当:長澤文子・金鮮榮
レベル:HSK 6級にチャレンジしたい方
- ⑥ 絵手紙(ワンちゃんの墨絵) 担当:唐涛 13:30～15:30(2h)
レベル:中国語のレベルは問いません
- ⑦ 中国結び 担当:みなみりょうこ 10:00～12:00(2h)
レベル:中国語のレベルは問いません

詳しい内容はチラシをご覧ください。

時間:13:30～15:30(①～⑤全4時間)/

13:30～15:30⑥・10:00～12:00⑦

受講料:8,000円(①～⑤)/4,000円(⑥～⑦教材費別途)

(定員:16名全講座共通)

お申込み:お電話、インターネット、受付等でお申込み下さい。

お支払:窓口もしくは、銀行口座へお振込み下さい。

別科朗読大会報告

9月30日に日中友好会館地下大ホールにて、別科朗読大会が行われました。朗読大会に向けて、参加される方が、授業後など熱心に練習に取り組まれていました。今年は、ゲスト参加者も含め38組が参加しました。さらに陳淑梅先生をゲストにお迎えし、講評を行って頂きました。また講師による模範朗読なども行われました。



訃報

日中学院の前身、倉石中国語講習会で中国語を学ばれ、その後は、日中学院創設から長きにわたり学院の運営に携わってこられた、前副学院長である江尻健二先生が、10月6日に逝去されました。享年84歳。心よりご冥福をお祈りいたします。